

地方元気再生推進調査委託事業 (村ぶろ戦略 北山村)

施策のポイント

「行きにくい」中山間地域の市町村との交流を活性化させる「地域ブログ横断ポータルサイト」の構築により、相互効果による観光振興や地域製品の販路拡大など、地域活性化を目指した新たな情報発信手段であること。

自治体情報

和歌山県北山村

人口 / 504人

標準財政規模 / 537,613千円

担当課 総務課

電話番号 代表 0735-49-2331

実施主体 北山村元気再生推進協議会

関連ホームページ <http://www.kitayama.wakayama.jp>

事業期間 平成20年度から平成21年度まで

参考とした施策

関係施策分類 ④ ⑤

施策の概要

1 取組に至る背景・目的

北山村の人口は10年間に14%減少し、高齢化率は42.8%と高く、過疎化の進行が続いている。また、自治体財政力指数も0.10と低く、村民所得も村内所得が反映されずに減少し、厳しい経済状況が続いている。「じゃばら」「いかだ」「飛び地の村」など、村の固有資源を活用し「自立的なむらづくり」を実現させるためには、資源に対する個別の取組みをステップアップが求められており、これらを総合化させ、全国とつなぐ独自システムとして「地域ブログ横断ポータルサイト」を構築することで、北山村スタイルの地域活性化を全国に広げ地方の元気再生に踏み出していく。

2 取り組みの具体的内容

- (1) 「じゃばら」を活用した商品開発とマーケティング
- (2) 「いかだ」「飛び地」など地域資源の新たな発掘・活用の実践
- (3) 流木・廃材・間伐材を活用した「木質バイオマスシステム」の構築
- (4) 「村ぶろ」の再構築と「地域ブログ横断ポータルサイト」の展開による中山間地域の連携の実施

3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

「じゃばら」「いかだ」「飛び地の村」等、全国に誇れる資源を多く有しており、これらを個性として活かし売り出すためには、自治体初のブログ運営となる「村ぶろ」を「地域横断ポータルサイト」として事業展開していくことで、「自らの地域は自らが守る」「自らが出来ることは自らが行う」という、「自立性の高いむらづくり」が実現されることを想定。

4 現在までの実績・成果

各プロジェクトを密接に連携させ「自立する村」の方針を明確にする基本計画が確立され、相互効果を発揮させることの重要性が明確になった。また、ブログを活用し地域活性化に取組みたい地域が多いことから、ブログの有用性や費用対効果を整理し、「行きにくい村」の仲間づくりを進めていく必要性が明らかになった。

- (1) じゃばら製品デザイン・PRグッズ等の開発制作・じゃばら水の開発、販売展開により「じゃばらブランド」が確立。

- (2)(3) 官民学連携による資源調査の実施・「バイオマスタウン構想」の策定
 (4) 「村ぶろ」を中心とした「地域ブログ横断ポータルサイト」の構築

5 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

飛び地の村という不便さや閉鎖性など課題もあるが、村民が地域資源を自らが認識し、誇れる資産としてどのように活用させるか。村民のやる気をいかに誘発させるか。目指すべき村の全体構想を図る上で、地域の連携体制の強化が重要な鍵となった。

6 今後の展開と課題

- ・「地域ブログ横断ポータルサイト」による中山間地域の交流をさらに活性化させ、観光客の増加・地域製品の販路拡大を推進させる。(参加団体の拡充)
- ・「じゃばら」消費層を拡大させ、産業基盤を強化する。
 (「じゃばら水」等の本格販売・じゃばら鶏の開発など)
- ・地域資源を活かした新たな村づくり(グリーンツーリズムの推進)
- ・バイオマスタウン構想の推進(温泉施設へのバイオマスボイラーの導入など)



予算関連データ

総額 ①～⑤の計		財源内訳(財源区分:①～⑤)				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
30,937千円		30,937千円	0千円	0千円	0千円	0千円
①～④の名称、 所管など	名称	地方の元気再生事業				/
	所管	内閣府 内閣官房				
	金額	30,937千円				
	補助率	100%				

提供可能資料:「村ぶろ戦略 北山村」概略版